

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 1 回瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会
開催日時	令和 6 年 3 月 2 8 日 (木) 午後 2 時 3 0 分～午後 3 時 3 0 分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3 階 3 0 1 会議室
議 題	(1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績 (令和 4 年度) (2) 第 2 期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン (基本構想) (3) 第 2 期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン (取組事業) (4) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西 秀人、副会長 白石 義人、中村 修、久保 輝起、 田中 久司、岡野 能之委員、濱野 良一委員、大江 正彦委員、 谷 康男委員、伊藤 良春委員、富田 修司委員、前田 武俊委員、 河野 雅廣委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
報道機関	0 人
担当課及び 連絡先	政策課 (087 - 839 - 2135)

会議経過及び会議結果

会議の概要は、次のとおり

議題 (1) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組実績 (令和 4 年度)

(会長)

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの令和 4 年度取組実績について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明】

会議経過及び会議結果

議題（２）第２期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン（基本構想）

（会長）

第２期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの基本構想について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明】

（委員）

令和５年１２月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口では、かなり厳しい、衝撃的な数字が示されている。５６万人という目標値が達成可能かの議論が必要だと思う。

東京圏一極集中と同時に、高松圏への人口集中もあり、圏域内でも濃淡がある。圏域内の各地域の状況を踏まえながら、高松市を中心とした圏域全体のことを考える必要がある。圏域には、県の東端もあれば、離島もある。地域性を踏まえたビジョンを考える必要があるのではないか。

（事務局）

５６万人は、現時点の各市町の人口ビジョンの数値の合計である。国立社会保障・人口問題研究所の推計値を踏まえて、各市町が今後、人口ビジョンを見直す場合は、それに合わせてこちらの目標も見直すことが考えられる。

議題（３）第２期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン（取組事業）

（会長）

第２期瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンの取組事業について、事務局から説明いただきたい。

【事務局から説明】

（委員）

獣害対策事業は三木町しか丸が付いていないが、他市町はどうか。（資料３
１３ページ参照）

三木町は徳島県にも接しているが、高松市、東かがわ市、さぬき市とも接してお

り、イノシシやサルは県境や市境をまたいでやって来るので、お尋ねしたい。

(事務局)

この表は、高松市と連携する市町を示しており、この事業については、三木町と高松市の2自治体で実施している。

(委員)

他市町も同じ状況のところがあると思うので、連携してできるといい。ご検討いただきたい。

(会長)

ほかにも、現状連携事業としては位置付けられていないが、自市町でも実施したいという取組事業があれば、お知らせいただきたい。

さて、ビジョンの基本構想と取組事業について説明したが、この内容で第2期のビジョンをとりまとめてよいか。

(一同異議なし)

議題(4)その他

(会長)

議事全般や共通する事項について、意見や質問等があれば、御発言いただきたい。

(特になし。)

(会長)

以上で、本日の会議を終了する。